

令和5年3月24日

合同部会アンケート集計

アンケート回答21名（参加者42名）

1. 所属

入所施設	グループホーム	通所生活介護	相談支援事業所	その他
2	3	1	13	2

2. サービス管理責任者（相談支援専門員以外）の方に質問いたします。

① 個別支援計画作成にあたり、目標設定で難しさがありますか？

ある	3
ない	5

「ある」について

- ・相談との計画との照らし合わせができていない
- ・本当のニーズを捉えられているのか？
- ・サービス等利用計画書で“安定”や“一人暮らし”など抽象的ワード

② 利用者の状況に変化があるとき、相談支援専門員と情報共有に難しさがありますか？

ある	1
ない	2
担当者によって違いがある	5

「ある」について

- ・すぐすぐに連絡がしづらい

③ 個別支援計画を相談支援専門員に渡していますか？

渡している	6
渡していない	2

- ・相談支援事業所によって渡していないところもある
- ・渡し忘れていた時もある

3. 相談支援専門員の方に質問いたします。

① 入所施設やグループホームを利用している方のモニタリングで難しさがありますか？

ある	7
ない	7

「ある」について

- ・ コロナ禍の時は実情の聴き取りだけだった
- ・ GHの担当世話人がモニタリングに参加するが調整が難しい
- ・ 個別支援計画書がもらえない
- ・ 現状の確認で終わってしまう
- ・ 本人のニーズを共有し取り組みについて検討するが、その後進展がない
- ・ 3～6か月のモニタリングで状況確認だけになることもある
- ・ 入所になると朝・夕の様子や生活場面は家族より施設スタッフの方が情報が多くなるが、可能な限り家族やキーパーソンにも参加してもらいたい
- ・ 担当スタッフとの連絡が取りづらい、勤務の日を狙って電話をしている

② 障害特性がサービス事業所にうまく伝わっていないと感じることがありますか？

ある	3
ない	3
事業所によって違いがある	9

「ある」について

- ・ 利用者の理解力や特性を理解して支援してほしいときがあった
- ・ 入所、GHを利用している精神の方で状態に変化があった時の情報共有の大切さや、服薬管理が必要な方で、頓服が自分で判断して飲めない方への服薬の促しが困難
- ・ 「できない」を「わがまま」と捉えるか、可能性は無限であることを伝え共有していきたい

③ 日中活動のサービスを利用している場合で、入所施設やグループホームのサービス管理責任者がモニタリング会議等に参加できるように調整できていますか？

できている	10
できない	3
照会等で把握	0

「できない」について

- ・ GHでは担当世話人が参加することになっておりサビ管は参加していない
- ・ 情報をもっている支援員の参加できる日程を優先してしまう

- ・ 支援者のみの場合もあり
- ・ サビ管+支援者（員）でないと決定することができないこともある。結局モニタリング終了後に管理者に確認する必要がある

「照会等で状況を把握することが多い」について

- ・ 時と場合、感染対策で照会も多い事や、利用者の希望日時を優先することで事業所加算できない事

4. 相談支援専門員、サービス管理責任者との合同部会で、今後やってみたい協議テーマ、研修会、勉強会等について意見をきかせてください。

- ・ 事例検討会をしてほしい
- ・ SST の研修や面談聴き取り技法の研修など
- ・ 計画相談員に求める事
- ・ 介護保険への移行のタイミングの検討
- ・ 相談支援専門員、サービス管理責任者が互いの求めること、希望など
- ・ 防災の話し合い
- ・ 意思決定について
- ・ 飲みにケーション

以上